

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その調査結果が千曲市報（11月号）で公表されました。本校でも調査結果を分析し、成果と課題を明らかにして、これからの学習指導に役立てていきます。成果と課題を保護者の皆様と共有していかれるよう、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

※調査結果は学力の一部分で、学校における教育活動の一側面をとらえたものです。

（1）教科に関する調査結果の概要（平均正答率と考察）

調査内容	学 習 指 導 要 領 の 領 域
国語に関する問題	○全国・長野県の平均をやや上回りました。 ①「言葉の特徴や使い方に関する事項」②「話すこと・聞くこと」多くの児童ができていますが課題があります。 ③「書くこと」50%を下回り課題があります。 ④「読むこと」多くの児童ができていますが課題があります。
算数に関する問題	○全国・長野県の平均をやや下回りました。 ①「数と計算」②「図形」多くの児童ができていますが課題があります。 ③「変化と関係」50%を下回り課題があります。 ④「データの活用」多くの児童ができていますが課題があります。
理科に関する問題	○全国・長野県の平均を下回りました。 ①「エネルギーを柱とする領域」②「粒子を柱とする領域」どちらも50%を下回り課題があります。 ③「生命を柱とする領域」多くの児童ができていますが課題があります。 ④「地球を柱とする領域」50%を上回っていますが課題があります。

【国語】

- ① 平均を上回り、国語の力は十分ついていると判断できますが、課題はあります。
- ② 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることをとらえることに課題があるので、振り返りの場面などで、自分たちの話し合いの様子を確かめる活動を設定するとよいと考えられます。
- ③ 「話すこと・聞くこと」に関して、特に「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえること」ができていました。異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるよう、「～という意見もあったが」「～という考えもあるけれど」などの表現を話し合いの中で用いることができるよう、指導していきます。
- ④ 「書くこと」では、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つける問いに課題があります。1・2学年では「内容や記述などにみられる具体的な良さ」、3・4学年では「書くこととしたことの明確さ」、5・6学年では「文章全体の構成や展開の明確さ」を扱っています。各学年の学習のつながりを考えて系統的に指導していきます。
- ⑤ 「読むこと」では、登場人物について描写をもとにとらえることはよくできています。人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題があります。何が書

かかれているだけでなく、「どのように書かれているか」という表現面にも着目して読むことができるように指導していきたいと考えています。

【算数】

- ① 「数と計算」「データの活用」では、ほとんど理解できていますが、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題があります。概算にする方法（切り上げ、切り捨て、四捨五入）が適切かどうかを判断できるよう指導していきます。また、数量が変わっても割合が変わらないことへの理解に課題がみられたので、日常場面に対応させながら、割合について理解したり、図や式で数量関係を表したりすることができるように指導していきます。
- ② 「図形」では、図形の意味や性質、構成の仕方については理解できていますが、正三角形の意味や性質をもとに、回転の大きさとしての角の大きさを考察し記述する問題に課題がありました。作図の仕方を考えたり、作図の仕方について筋道を立てて説明したりすることができるように丁寧に復習します。

【理科】

- ① 「エネルギーを柱とする領域について」は、問題解決のために必要な結果を適切に記録したものを選択することはできていました。実験の結果を分析して解釈し、具体的な数値や分析した内容に基づいて結論の根拠を示すことに課題があります。まとめを行う際には、何を結論の根拠としているのか明らかにして、表現する場面設定をしていきます。
- ② 「地球を柱とする領域について」は、観察結果から結論を導き出すことはできているが、事象を日常生活と関連付けて理解することが苦手な傾向にあります。知識をより深く理解できるようにするためには、問題解決を通して習得した知識を使って、日常生活との関わりの中で捉えなおす場面を設定していきます。

【全教科を通して】

- ①文章や資料を関連付けて、必要なことを読み取る力をつけていきます。
 - ・物語や説明文だけでなく、多様な音読を引き続きおこなっていきます。
 - ・国語に限らず他教科においても、資料から読み取れることやそこから考えられることを話し合ったり、記述したりする活動をおこなっていきます。
- ②目的を意識して、分かったことや考えたことを整理して、筋道を立てて書く力をつけていきます。
 - ・どの教科でも自分の考えたことを書く時間を多くとったり、大事な言葉（キーワード）を確認したりしていきます。
 - ・友と活動する場面で、自分の考えを記述してから話し合ったり、友達の意見を取り入れながら自分の考えをまとめていったりする、話し合いの学習を仕組む試みを行います。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

- ・「自分にはいいところがあると思いますか」「先生はあなたのいいところを認めてくれますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいですか」「自分でやると決めたことは、やり遂げようとしていますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」の項目について良好な結果が得られました。自己肯定感を高め、友達や先生のこと、自分のことが大好きといえる学校を目指してきた成果だと思えます。
- ・「地域の行事に参加していますか」の質問に「当てはまる」と答える児童が年々減少しています。コロナ禍であり、地域に出て、地域のものに触れたり、地域の方に学んだりする学習の機会が減っていることが、この結果に表れています。地域のもの・ことに触れ、地域の方に学ぶ「ふるさと学習」について、ウィズコロナに向けて、学校としてのカリキュラムを再度見直していきたいと考えています。